Valveking Series

All-Tube Amplifiers

取扱説明書

株式会社 サウンドハウス
〒286-0044 千葉県成田市不動ヶ岡1958
TEL:0476(22)9333 FAX:0476(22)9334
http://www.soundhouse.co.jp shop@soundhouse.co.jp

このマークは製品のエンクロージャー内に、絶縁されていない危険な電圧が存在し、感電の恐れがあることをユーザーに警告するためのものです。

このマークは製品に付属する文書内に重要な操作およびメンテナンスの指示があることをユーザーに警告するためのものです。

注意：感電の危険があるのでカバーを開けないでください。
注意：感電の危険を軽減するために、カバー（または背面部）は取り外さないでください。ユーザーによる保守が難しい内部パーツの修理に関しては、資格のある技術者にご相談ください。

警告：火事または感電事故を防ぐために、本製品を雨や湿気にさらさないでください。本製品は水滴や水しぶきにさらさないようにし、花瓶など、液体が入ったものを本製品の上に置かないでください。

重要な安全指示

警告：電気製品を扱う際は、以下に示す重要な注意事項を必ず守ってください。

1. 取扱説明書を必ずお読みください。
2. 取扱説明書は大切に保管してください。
3. 製品と操作説明に関する警告に留意してご使用ください。
4. すべての指示事項を順守してください。
5. 水の近くでは本製品を使わないでください。
6. 掃除には乾いた布だけをお使いください。
7. 換気孔をふさがないでください。メーカーの取扱説明書に従って設置してください。
8. ラジエーターや熱調整装置、ストーブ、その他の熱を発生する装置（アンプを含む）など、熱源の近くに設置しないでください。
9. 電源プラグがコンセントの差し込み口に合わない場合等、古いコンセントの取替えについては電気技師にご相談ください。
10. 電源コードは、特にプラグの差し込み部分、延長コード、機器から出ている部分が引っかかり、抜けたり挟まれたりしないように保護してください。
11. アタッチメントや付属品は、必ずメーカー指定のものをご使用ください。
12. 期間使用しない場合や、雷を伴う嵐の際はプラグをコンセントから抜いてください。
13. メンテナンスの際は、有資格の技術者に必ずご相談ください。電源コードやプラグの損傷、液体や異物が本製品内に入り込んだ場合、本製品が雨や湿気にさらされた場合、正常に作動しない場合、本製品を落とした場合など、本製品が何らかの状態で損傷した場合は、メンテナンスが必要です。
14. 電源コードは表示に従って接続してください。
15. にマウントする際は、リアハンギングブラケットを取り付ける必要があります。
16. 本製品は水滴や水しぶきがかからないようにし、花瓶など、液体が入ったものを本製品の上に置かないでください。
17 ON/OFF スイッチが OFF の状態でも電気が滞留している可能性があります。メンテナンスをする際は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

ValveKing™ シリーズ 100/112/212
オールチューブギターアンプ

この度は、Peavey ValveKing™シリーズ ギターアンプをお買い上げ頂きありがとうございます。Valveking は新特許技術 Texture 回路を採用し、モダンなクラス A/B サウンドとヴィンテージライクなクラス A サウンドを自在に可変することによって、これまでにない多彩なチューブアンプサウンドをクリエイトします。プリアンプ部に 12AX7、パワーアンプ部には 6L6 を搭載。6L6 ならではの荒々しいオーバードライブサウンドを出力します。

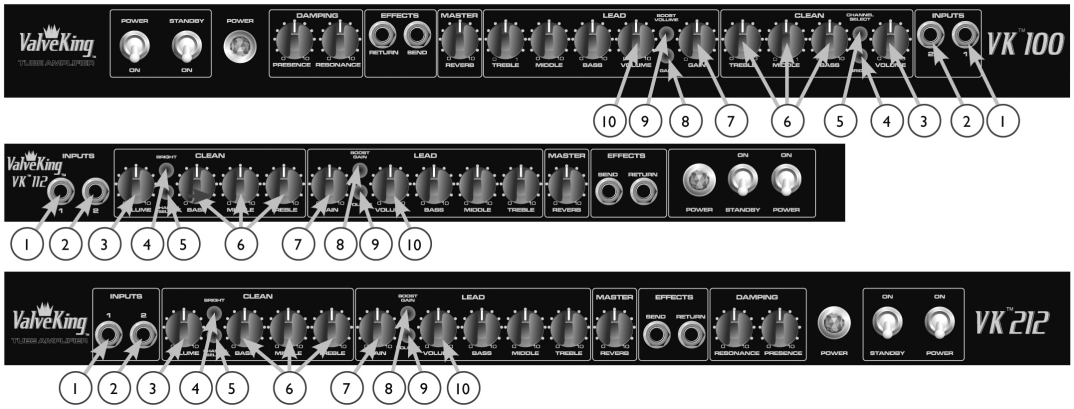
特長：
- 6L6GC パワー管と 12AX7 プリアンプ管
- 特許技術の Texture コントロール
- クリーン/リードの 2 チャンネル仕様
- リードチャンネルのボリューム・ブーストはフットスイッチで ON/OFF 可能
- バッファードエフェクトループ搭載
- 外部スピーカー端子装備（Valveking Head と ValveKing212 のみ）

本製品を使用する前に、AC 電源が正しく接続されている事をご確認ください。正しい電圧はリアパネルの AC 電源ソケット側に表示されています。本製品の各機能には番号が振られています。各機能の詳細に関しては本マニュアルのフロントパネルの図を参照してください。

お客様と製品の安全を確保する為、このマニュアルを注意してお読みください。

注意：通気の良い場所で使用し、可燃物からは最低 30cm 程度離してください。必ず全ての通気孔が塞がれていない事を確認してください。

フロントパネル



1) ハイゲイン入力
通常のエレキギターに使用します。ハイゲイン入力の出力はローゲイン入力(2)より、10dB ほど大きくなります。

2) ローゲイン入力
ハイゲイン入力につなぐと音が歪んでしまうような高い出力を持つギターを接続する時に使用します。両方の入力端子を同時に使用すると、ローゲインのレベルになります。

3) ボリューム
クリーンチャンネルの音量を調整します。

4) ブライトスイッチ
高域がブーストされます。

5) チャンネル選択・スイッチ
リード/クリーンチャンネルを選択することが出来ます。ボタンをINの位置にするとリードチャンネル、OUTの位置にするとクリーンチャンネルとなります。
別売のフットスイッチを使用することにより、チャンネルを切り替えることができます。フットスイッチを使用する際は、このボタンをリードチャンネルの位置にセットしてください。

6) トーンコントロール
各周波数帯域の音質を調整するつまみです。最初はセンターの位置に合わせ、好みのトーンになるようにつまみを調節します。

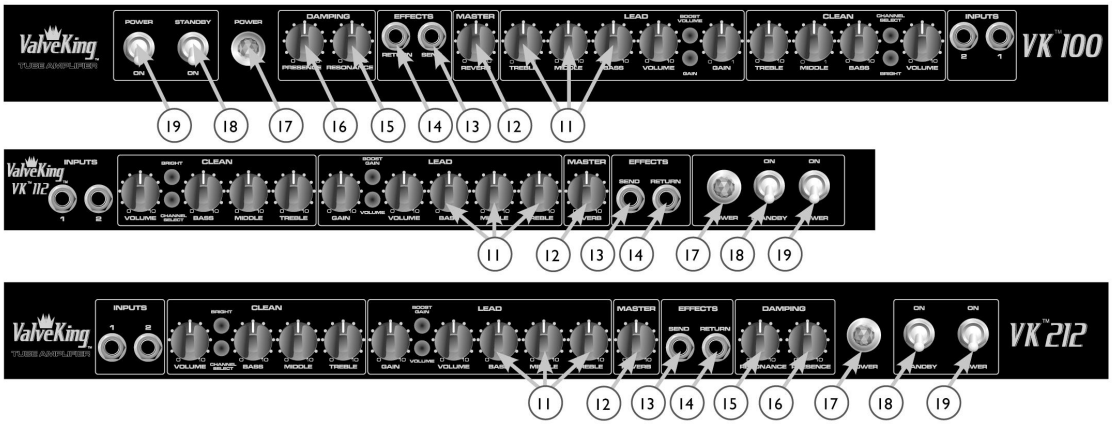
7) ゲイン
リードチャンネルの歪み量を調節します。

8) ゲイン・ブースト
ゲイン(7)が大きくなり、より強力な歪みが得られます。ボリューム・ブースト(9)と合わせて使用する事ができます。別売のフットスイッチで ON/OFF 可能です。

9) ボリューム・ブースト
リードチャンネルの音量(10)をブーストします。ゲイン・ブースト(8)と合わせて使用する事ができます。別売のフットスイッチで ON/OFF 可能です。

10) ボリューム
リードチャンネルの音量を調整します。

フロントパネル



11) トーンコントロール

リードチャンネルの各周波数帯域の音質を調整するつまみです。最初はセンターの位置に合わせ、好みのトーンになるようにつまみを調節します。

12)マスターリバーブ

リバーブの効き具合を調節します。

13)エフェクトセンド端子・14) エフェクトリターン端子

モノラル仕様のフォンケーブルを使用してエフェクトセンド端子からアンプ信号を外部エフェクターやプロセッサーへ送り、エフェクトリターン端子へ戻すことができます。

15)レゾナンス (Valveking Head と ValveKing212 のみ)

PEAVEY 独自の特許技術を用いて、低域の周波数特性とパワーアンプ部のダンピングファクターの微調整を行います。レゾナンスを上げると低域が際立つサウンドになります。

16) プレゼンス (Valveking Head と ValveKing212 のみ)

高域の周波数特性、パワーアンプ部のダンピングファクターの微調整を行います。プレゼンスを上げると、高域が際立つサウンドとなります。

17)パイロットランプ

アンプに電源が供給されている時に点灯します。

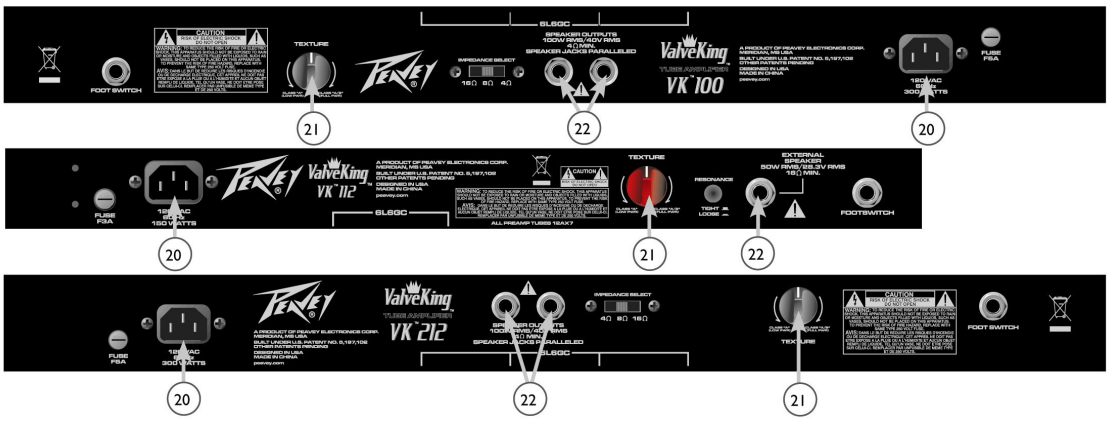
18)スタンバイスイッチ

メイン電源をオンにしたあと、2-3 分ほど時間をおいてチューブを暖めてから、スタンバイスイッチを入れてください。アンプの電源を切るときは、スタンバイスイッチをオフにしてから電源スイッチをオフにしてください。

19)電源スイッチ

メイン電源をオン/オフするスイッチです。電源がオンの時はパイロットランプ(17)が点灯します。

リアパネル



20)AC 電源ソケット

電源ケーブルを差し込むソケットです。電源ケーブルをしっかりと差し込んでください。

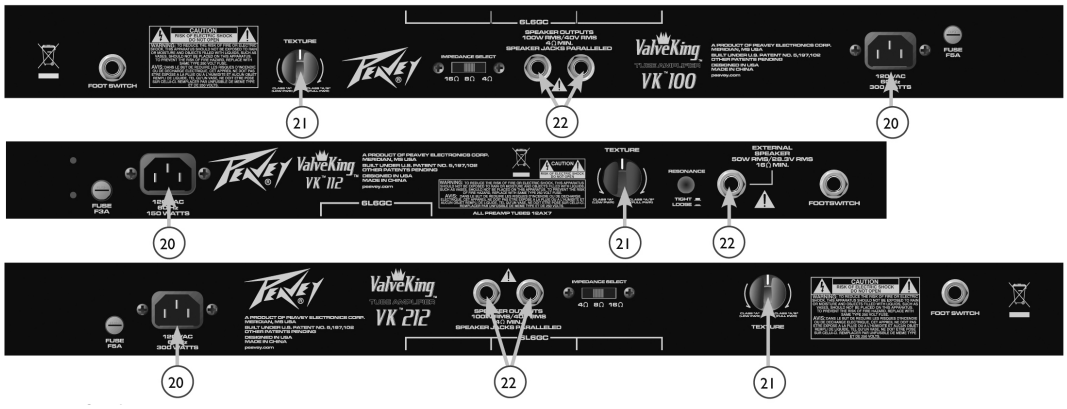
21)テクスチャー

PEAVEY が開発した特許申請中の新技術で、パワーアンプセクションの微調整ができます。このつまみを右に回しきった時、フルパワーの Class A/B 動作となります。この状態がテクスチャーの設定を行う上での基準となります。テクスチャーつまみを反時計方向に回していくと、パワー管の作用が次第に薄れていき、プリ管のゲイン成分が多くなっていきます。
低域の周波数特性もゲインと同時に変化していき、音量を低く設定しても、パワーアンプから偶数次の高調波歪みが付加されていきます。左いっぱいに回すと、True Class A アンプと全く同じに動作、反応するシングルエンドのパワーアンプセクションとなり、ハイゲインなチューブサウンドを得ることができます。この設定において、使用されていないパワー管もアイドル電流を引き込んでいるので、Class A/B 接続の効率はそのまま保たれています。このモードでは出力が最大定格出力の 60%にまで抑えられます。

22) スピーカー出力端子

外部スピーカーキャビネットを接続します。ValveKing112 のスピーカインピーダンス最小値は 16Ω です。ValveKing112 で外部スピーカーを接続する場合は、本体スピーカーを外してください。ValveKing212 と ValveKing Head は、インピーダンスセレクター(25)でインピーダンスを切り替えることができます。

リアパネル



23) レゾナンススイッチ(ValveKing112 のみ)

パワーアンプのダンピングファクターが変わり、スピーカーの低域を微調整します。ボタンを押して「Loose」の位置にすると、低音域に深みが加わります。ボタンを押して「Tight」の位置にすると、クリーンな低音になります。好みに合わせて設定してください。

24) フットスイッチ端子

別売のフットスイッチ(#00579720)を接続します。このフットスイッチはリード/クリーンチャンネルの切替及びリードチャンネルのブーストスイッチを ON/OFF の操作ができます。ブーストスイッチの制御をフットスイッチで行う場合、フロントパネルのブーストスイッチを ON に設定してください。

25)インピーダンスセレクトスイッチ(ValveKing 212、100 ヘッドのみ)

接続するスピーカーのキャビネットに合わせてインピーダンスを選択する 3 段階スイッチです。同じインピーダンスを持つキャビネットを 2 台使用する場合は、各インピーダンスの半分の数値に設定してください。例えば、2 台の 16Ω キャビネットを使用する場合は 8Ω に、2 台の 8Ω キャビネットを使用する場合は 4Ω となります。最低インピーダンスは 4Ω です。

ValveKing シリーズ仕様

ValveKing100 Head

定格出力： 100W (rms)/4,8,16Ω **消費電力：** 300W、50/60Hz、100VAC	**真空管：** 6L6GC x4 本、12AX7/ECC83 x3 本 **外寸 (H x W x D)：** 25 x 67 x 28 (cm)	**重量：** 18kg

ValveKing112

定格出力： 50W (rms)/16Ω **消費電力：** 150W、50/60Hz、100VAC	**真空管：** 6L6GC x2 本、12AX7/ECC83 x3 本 **外寸 (H x W x D)：** 46 x 54 x 26 (cm)	**重量：** 20.2kg

ValveKing212

定格出力： 100W (rms)/4,8,16Ω **消費電力：** 300W、50/60Hz、100VAC	**真空管：** 6L6GC x4 本、12AX7/ECC83 x3 本 **外寸 (H x W x D)：** 52 x 67 x 28 (cm)	**重量：** 29kg

ValveKing100/112/212　プリアンプ仕様

プリアンプハイゲイン入力:
インピーダンス:Very High-Z, 470kΩ

プリアンプローゲイン入力:
(-10dB Pad)
インピーダンス:High-z, 68kΩ

エフェクトセンド:
負荷インピーダンス:High-Z, 22kΩ以上
公称出力レベル: 0dBV, 1.0V (rms)

エフェクトリターン:
入力インピーダンス:Very High-Z, 1MΩ
設計入力レベル:0dBV, 1.0V(rms)

イコライザー:
パッシブEQ/ロー、ミッド、ハイブライトスイッチ:+6dB@～3.5kHz

リードチャンネル・フロントパネルフットスイッチ機能
ゲイン(on):リードチャンネルのゲインを多くして、よりタイトな低域のレスポンスになります。
ボリューム(on): +3dB-5dBのボリュームをブーストします。（リードボリュームが中間のときによくききます）

リモート・フットスイッチ(別売):
*LEDインジケーター付2ボタン仕様
*Channel選択とボリューム/ゲイン・ブーストのON/OFF（フロントパネルのスイッチをONにして下さい）

製品の機能、仕様は予告無く変更される事があります。

保証書

保証書

ご使用中に万一故障した場合、本保証書に記載された保証規定により無償修理申し上げます。

お買い上げ日より１年間有効

■保証規定

保証期間内（ご購入より1年間）において、取扱説明書・本体ラベルなどの注意書に基づき正常な使用方法で万一発生した故障については、無料で修理致します。保証期間内かどうかは、サウンドハウスからのご購入履歴により確認を行います。
但し、保証期間内でも、下記のいずれかに該当する場合は、本保証規定の対象外として、有償の修理と致します。

1. お取扱い方法が不適当（例：過大入力によるウーハー焼けなどの故障等）なために生じた故障の場合
2. サウンドハウス及びサウンドハウス指定のメーカーや代理店が提供するサービス店以外で修理された場合
3. 製品に対して何らかの改造が加えられた場合
4. 天災（火災、塩害、ガス害、地震、落雷、及び風水害等）による故障及び損傷の場合
5. 製品に何らかの理由で異物が付着、もしくは流入したことによる故障及び損傷とみなされた場合
6. 落下など、外部から衝撃を受けたことにより故障及び損傷がおきたとみなされた場合
7. 異常電圧や指定外仕様の電源を使用したことによる故障及び損傷とみなされた場合（例：発電機などの使用による異常電圧変動）
8. 消耗部品（電池、電球、ヒューズ、真空管、ベルト各種パーツ等）の交換が必要な場合
9. 通常のメンテナンスが必要とみなされた場合（例：スモークマシン等の目詰まり、内部清掃、ケーブル交換等）
10. お客様自身で行った調整や修理作業が原因で生じた破損事故や故障
11. その他、メーカーの判断により保証外とみなされた場合

●運送費用

通常、修理品の持込等に要する費用は全てお客様のご負担となります。但し、事前に確認のとれた初期不良ならびに保証範囲内での修理の場合は、佐川急便に限り着払いを受け付けます（下記RA番号が必要です）。沖縄などの離島の場合は、着払いでの受付は行っておりません。送料はお客様のご負担にて、どこの運送会社からでも結構ですので発送願います。

●RA番号（返品承認番号）

初期不良または保証内の修理における着払いでの運送については、サポート担当より通知されるRA番号が必要です。ご返送される場合は、必ずRA番号を送り状シールに明記してください。RA番号が無いものについては、佐川急便以外の運送会社での着払いは一切お受けできませんのでご了承ください（お客様のご負担の場合はどの便でも結構です）。

●注意事項

サウンドハウス保証は日本国内のみにおいて有効です。また、いかなる場合においても商品の仕様、及び故障から生じる損害（周辺機器の損害、事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、又はその他の金銭的損害）に関してサウンドハウスは一切の責任を負いません。